



富山東別院

報恩講



四衢亮氏
よつ っじ
あきら

岐阜高山教区高山1組不遠寺住職
前真宗大谷派青少幼年センター研究員

講題
真宗の大地

2025年 10月6日月～8日水

真宗大谷派 富山別院

住所：富山市総曲輪2丁目8番地29号
電話：076-421-3272



報恩講日程詳細

※日程は変更または中止する場合がございます。予めご了承ください。

10月6日(月)		10月7日(火)		10月8日(水)	
		7:00	初晨朝	7:00	結願晨朝 御参修
		7:45	法話 約25分	7:50	法話 約20分
		9:40	団体参拝到着予定	9:40	団体参拝到着予定
		10:00	初日中	10:00	結願日中 御参修
		10:45	法話 約1時間	11:30	鍵役挨拶
				引続き	法話 約45分
13:40	団体参拝到着予定	13:30	帰敬式受付開始	12:30	終了予定
14:00	初逮夜	14:00	結願逮夜 御参修	御参修 真宗本廟(本山)の鍵役が出向し法要に参勤することを御参修とい います。鍵役とは、本山の両堂に奉仕し、 儀式について門首を補佐し、また全国 の別院や寺院における法要に、門首に 代わって出向する役職です。	
14:45	法話 約1時間	15:20	帰敬式法話 約30分		
15:50	初夜	16:00	帰敬式執行		
16:00	『御伝鈔』上巻 拝読				
17:00	終了予定	17:00	終了予定		

ご講師 メッセージとプロフィール

メッセージ

仏教は私たちの生きるこの世を濁世と表します。濁りの中っていると汚れて見通しがきかず、自分たちの姿も様々な問題もぼんやりと見えなくなることになります。濁りの世界だけなら、濁っていると気づかずこんなものだと思って過ぎることになるかもしれません。

それに対し浄土は清らかな世界として表されます。その清らかさは濁りの迷いを明白にするという清らかさです。ですから、この浄土という世界があって、はじめて濁世という問題が明らかになるのです。

浄土真実の教えとは、濁世の現実を逃げ出して極楽という夢の世界を妄想することではありません。浄土の教えを根拠として、濁世を自分の課題として、現実を生きる道を開く教えです。

プロフィール

1958年岐阜県高山市生まれ。岐阜高山教区不遠寺住職 前真宗大谷派青少年センター研究員

著書:『観無量寿経の教え』・『時言』・『歎異抄の世界をたずねて』・ワンコインブック・その他

6日16:00 御伝鈔 上巻拝読

御伝鈔とは、正式に『本願寺聖人伝絵』といい、親鸞聖人の伝記として第3代覚如上人が撰述された絵巻物です。

覚如上人は、1295(永仁3)年、26歳の時に13段からなる『御伝鈔』の初稿本を著され、その後1343(康永2)年、74歳の時に増補して15段(上巻8段、下巻7段)とされています。

『御伝鈔』の上巻には、親鸞聖人の求道の歩みが語られており、殊に法然上人との出会いをとおして、念仏の僧伽を吉水で学ばれたことが語られます。

児童教化連盟
のバザー
場所:本堂前

教区児童教化連盟(児連)主催により、バザーを
いたします。バザーには、日用品・おもちゃ・カバ
ンなどいろいろなものがございますので、是非のぞ
いてみてください。

◆開催日時◆

10月6日(正午から午後4時まで)

7日(午前9時から午後4時まで)

8日(午前9時から午後1時まで)

今年度の報恩講各組担当割

諸役係正副当番組 正:第11組 副:第12組

団体参拝担当割 初逮夜:第9組 初日中:第10組 結願日中:第13組

結願逮夜は帰敬式受式者が参拝予定で、両晨朝に於いては第10組中心にお願いしております。
どの座も一般参詣席を設けておりますので、いつでもお参りできます。